

今月の技術対策 (水稻編)

留萌農業改良普及センター

TEL : 0164-62-1779 FAX : 0164-62-2474

E-mail : rumoi.nakanoukai1@pref.hokkaido.lg.jp



畑作・園芸編も
HPで公開中!

1 生育状況

他管内では既に収穫始まっています。留萌管内の8月15日現在の生育は5～6日早く進んでいます(表1)。成熟期が早まることから、早期に収穫に向けた準備を行いましょう。また、台風による倒伏部分は収穫前に稲の状態をチェックして対応してください。

表1 8月15日現在の生育状況(普及センター調査区(成苗ポット「ななつぼし」中苗マット「風の子もち」))

	成苗ポット ななつぼし			中苗マット 風の子もち		
	本年	平年	遅速	本年	平年	遅速
稈長 cm	73	70	早6	72	67	早5
穂長 cm	17.1	16.4		17.1	16.7	
穂数 本/m ²	517	510		566	544	
一穂粒数	57.2	62.5		63.2	63.8	
m ² 稈実粒数	28,411	29,794		33,285	31,967	
出穂期	7/22	7/26		7/27	7/31	
成熟期	-	9/10	-	9/20		

【収穫適期の判定】

適期刈取や適正な乾燥・調製の実施により良食味・高品質米生産に努めましょう!!

(1) 日平均積算気温による予測

- ・成熟期の予測は出穂後の日平均気温の積算値で約950℃に達する日です(表2)。
- ・成熟期から概ね1週間が収穫適期となるため、近づいたら黄化粒や玄米を観察して収穫の判断を行いましょう。
- ・普及センター調査ほ場の予測成熟期は、**成苗ポット「ななつぼし」では8/30～9/1頃、中苗マット「風の子もち」では9/2～9頃**となります。

表2 出穂期別の成熟期予測(普及センター調査区(成苗ポット「ななつぼし」中苗マット「風の子もち」))

出穂期	7/20	7/22	7/24	7/26	7/28	7/30	8/1	8/3
苫前・羽幌	8/28	8/30	9/1	9/3	9/6	9/8	9/11	9/14
初山別	-	8/31	9/2	9/5	9/8	9/10	9/13	9/15
遠別	-	-	9/3	9/6	9/9	9/11	9/14	9/17

※ 成熟期は土壌条件や総粒数などで変動します。(8/29以降は平年値を使用。8/28までは本年アメダスデータ使用)

(2) 黄化粃の割合からの収穫適期判定

- ・成熟期に近づいたら黄化粃の割合で収穫適期を判断します（図1）。
- ・不稔粃や遅れ穂を除いて、全体の90%が完熟粃（図1の右のように、粃、護えいともに黄色）になったら、収穫可能となります。
- ・成熟期に近づくと、黄化粃は天気の良い日に1日当たり2～3%程度増加します。

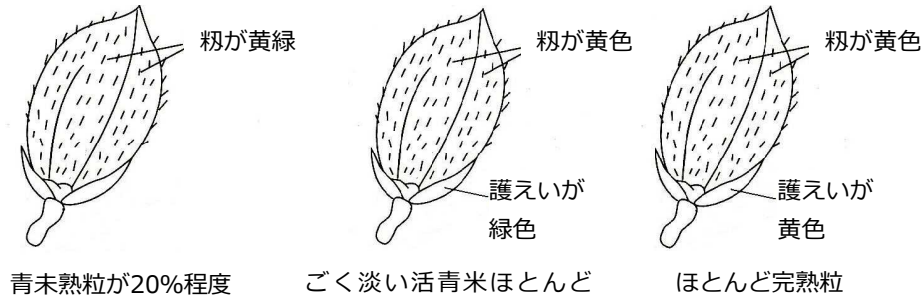


図1 熟色と玄米品質

(3) 玄米による収穫判断

- ・予想成熟期の7日前頃（黄化率70%）と適期の3日前の2回実施しましょう。
- ・水田内で平均的な生育をしている箇所から3～5株採取し、天日で1～2日程度乾燥後、ミニダップ等で粃すりします。整粒歩合70～80%以上で刈り取り可能です。

2 収穫作業の注意点

- ・余裕を持った収穫作業に向け、コンバインや乾燥機の整備・清掃を行いましょう。
- ・倒伏や褐変穂、生育の不揃いなどは別刈りし、別調製を行いましょう。
- ・倒伏した稲は追い刈りで収穫します。向かい刈りする場合はコンバインの速度を落として行いましょう（表3）。

表3 倒伏稲の収穫方向

	完全倒伏	中倒伏	立毛倒伏
追い刈り	△	○	◎
向い刈り	×	△	○
左倒伏刈り	△	△	○
右倒伏刈り	×	△	○

3 乾燥 ～急激な乾燥は控えましょう！～

(1) ヤケ米の発生防止：粃水分30%以上の場合は5時間以上堆積しないようにしまししょう。

(2) 2段乾燥を行いましょう。

- ・毎時乾減率0.5%～0.6%程度で乾燥します。

※毎時乾減率0.8%以上で行うと“胴割れ”が発生しやすくなります。

- ・好天日や張り込み量が少ない等、乾燥が進みやすい条件下では、熱風温度を下げましょう。

(3) 粃すりは肌ずれ米を発生させないように、粃温が十分低下した後に実施します。

（気温との差が5℃以下）。

表4 粃の貯留可能期間

収穫粃含水率	26%	26～22%	22～20%	20～19%	18%以下
貯蔵可能時間	8時間以内	30時間以内	3～5日以内	7～15日以内	30日以内

～ 農作業事故には十分注意しまししょう！ ～